

寒冷地形談話会通信

1988年度第5号

1988年11月15日 発行

事務局連絡先: 〒101 千代田区神田駿河台1-3

明治大学大学院610 地理学院生研究室内

澤口晋一 ☎03-296-4333 (呼)

10月例会報告

24日国立極地研究所において、小野・松岡・澤口、小崎、林の各氏の発表が行なわれた。

小野・松岡・澤口の各氏からは今夏のSvalbard諸島Spitsbergen島調査報告が、小崎氏からは昨夏のINQUA巡検報告があった。林氏からは南極アムンセン湾リーザーラルセン山付近の氷河・周氷河地形の紹介があった。Svalbardについては日本人地形学者による調査は今回が初めてであったこともあり、豊富なスライドを使用しての発表には大きな関心もたれた。

＊小崎氏の発表については今年度の1月例会において発表されたものと同内容ですので要旨はそちらをご覧ください。

寒冷地形談話会11月例会のお知らせ

日時: 11月26日(土) PM2:30~6:00

場所: 明治大学5号館 523教室

長谷川裕彦(明大・院) 北アルプス笠ヶ岳周辺の氷河・周氷河地形

松岡憲知(筑波大) 澤口晋一(明大・院) Svalbard1988調査報告No2

前回好評だった寒冷地形談話会ネーム入りカレンダー『大雪山の四季』、新しい写真で来年のものを作成しました。1部1千円(送料別)です。希望の方は事務局までハガキか電話でご一報ください。限定40部ですのでお早めにお申し付けください。なお、11月・12月例会でも頒布いたします。

Svalbard と いこころ

- 北緯 $70^{\circ} \sim 80^{\circ}$ にある群島。面積 62000 km^2 (北海道の約80%)。
- 最大の西島 $\rightarrow$ Spitsbergen. 氷帽のある北東島 $\rightarrow$ Nordaustlandet.
- 全島がツンドラ。年平均気温 -5°C (西岸) $\rightarrow$ -10°C (北東島)
- 極地砂漠。年降水量 400 mm (西岸) $\rightarrow$ 200 mm (内陸)
- 島の60%を氷河が覆う。
降雪: メキシコ湾流
冬の低気圧 $\rightarrow$ 東側に多い。
- 北極圏にありながら例外的に暖かい。
- スヴァールバル群島。

地形・第四紀序の問題

1. 氷床の発達史

- ① バレンツ海氷床の拡大範囲は?
- ② スヴァールバルはどのまで氷床に覆われたか?
- ③ 18 ka に氷床は拡大したか?
- ④ Younger Dryas の氷河拡大範囲は?
- ⑤ Neoglaciation の氷河前進はあったか?

2. 氷河

- ① スヴァールバルの氷河はなぜサージをおこすのか?
- ② 亜極氷河か温帯氷河か?

3. ヒンゴ

- ① 本当にヒンゴか?
〈ヒンゴ氷はありますか?〉
〈ヒンゴは成長しているか?〉
- ② Open system pingo である証拠は?
- ③ ヒンゴの発達史は?

4. 現在の周氷河斜面プロセス

- ① 斜面物質移動の速度と移動プロセスは?
- ② スヴァールバルは本当に活発な周氷河帯か?